

平成28年度 自然観察会 実施報告 H P用

四日市自然保護推進委員会

回数	第 6 回	参加者数	19名 参加団体 (四中工 理科部)			
テーマ	天然記念物 御池沼沢					
実施日	平成28年9月11日	天候	曇り時々晴れ			
場所	御池沼沢					
コース	開会時大池中学校 → 東池 → 民家の庭 → 西池 → 大池中学校					
観察会の概要 御池沼沢には寒地性の植物と暖地性の植物の両方が生育していること、東海地方にしか生育しない植物があることなどから、将来にわたって残しておきたい貴重な湿地であることを知り、観察をしました。また、観察のために、歩道や木道から外れて湿地の中に入り、貴重な植物を踏み荒らすことのないようにしました。						
参加者の感想・声など（抜粋） <ul style="list-style-type: none">・スズメバチが多く、危ないと思った。自然が多いところでよかったです。・大池中学校の生徒ですが、近くの御池沼沢のことはあまり知らなかつたので、知ることができてよかったです。・ガマの穂を始めて見ました。・貴重な植物が観察でき楽しい体験ができた。・今日もたくさん、虫さんを捕まえられて楽しかったです。どうもありがとうございました。						

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声などの種類） 観察物の花期、出現期などの状況	
植物	<p>・西側からしみ出した冷たい水が東側に流れるにつれてあたたまることで、西池には氷河期の生き残りである寒地性のヘビノボラズなどが生育地の南限として、東池には暖地性のミクリガヤが生育地の北限なっている。</p> <p>メガネツユクサ（園芸種）、ミミカキグサ、ナガボノアカワレモコウ、ミクリガヤ、ツルマメ、クズ、クマヤナギ、ノアズキ、カニクサ、クリ、トウネズミモチ、ネズミモチ、タヌキモ（スイレン鉢の中）、トウカイコモウセンゴケ、シラタマホシクサ、ミソハギ、ヒガンバナ、ヤマウコギ、ヤブミョウガ、ミズギボウシ、サワシロギク、サワギキョウ、ウメモドキ、サワヒヨドリ、ヤチヤナギ、ヘビノボラズ（果実）、ヌマトラノオ、コムラサキ、ノリウツギ、ホザキノミミカキグサ、ガマ、ヒメオトギリ、ヒヨドリバナ、ヒメキンミズヒキ、イヌザンショウ、カンガレイ、ハンノキ、フユノハナワラビ、ヒメシロネ、イヌノハナヒゲ、オモダカ、コナギ、ヒレタゴボウ、谷内坊主</p>
昆虫など	<p>・多くの種類を観察できて、楽しめた。昆虫を観察していると、全体の動きから遅れてしまうことが多かった。</p> <p>ナガサキアゲハ♀、アオスジアゲハ（成虫・幼虫）、アゲハチョウ、ヒカゲチョウ、ヒメジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、モンシロチョウ、キタキチョウ、アサマイチモンジ、チャバネセセリ、コチャバネセセリ、ダイミョウセセリ（成虫・幼虫）、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ルリタテハ、ヒメアカネ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、オニヤンマ、アオイトトンボ、オオアオイトトンボ、クサヒバリ、アオマツムシ、オンブバッタ、ショウリヨウバッタ♀、イボバッタ、チョウセンカマキリ、ヒメエグリバ（幼虫）、ビロードハマキ、ホタルガ、トビイロスズメ（幼虫）、オオスズメバチ、スズバチ、ハラナガツチバチ s p、ナカグロクチバ、コガタスズメバチ s p、ヒトスジシマカ</p>
クモ類	イオウイロハシリグモ
野鳥	モズ、キジバト、ハシブトガラス、スズメ、シジュウカラ、カルガモ、アオサギ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、ヤマガラ
菌類	ホコリタケ
その他	ヌマガエル、トノサマガエル